

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の行事の参加、盆踊り、カラオケ大会への参加をはじめクリスマス会には小学生がホームへ来所するなど利用者との交流に努めている。また、地域の方の農園から新鮮な野菜が直接提供される等、相互交流もある。近隣の喫茶店に気軽に出掛けられるのも、良い関係を気付いている事の証明になっている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議には、利用者や家族の他、町担当者・地域包括支援センター・民生委員・町会議員・地域代表等の出席があり、ホームの行事や近況報告等、活発な意見交換が行われている。しかし、開催回数が要件を満たしていない。	×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市町村役場の健康課とも気軽に声掛けが出来る関係が築かれている。また、地域包括支援センターとは、利用者紹介等の連携がある。さらに、認知症サポーター養成講座を開講する等、町と共に取り組む姿勢がある。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	モニタリング・アセスメントの家族意向・希望調査を兼ね、3ヶ月に一度の満足度調査と希望聴き取りを行い、確実に介護計画に反映を図っている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

どの項目に対しても熱心な取組みがあり、今後のホーム運営に対しても何ら問題は感じられない。ただ、軽減要件に、運営推進会議の開催に対しての回数の要件があることから、今後の改善を望むところである。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。